

いじめ防止取組集

～児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介～

令和7年度
石狩市教育委員会

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立石狩八幡小学校		
校長名	佐藤 寿昭	教頭名	鈴木 伸和
住 所	石狩市八幡4丁目167番地	電話番号	0133-66-3009
児童生徒数	85名（男子38名：女子47名）		

「いじめ防止標語」コンクール

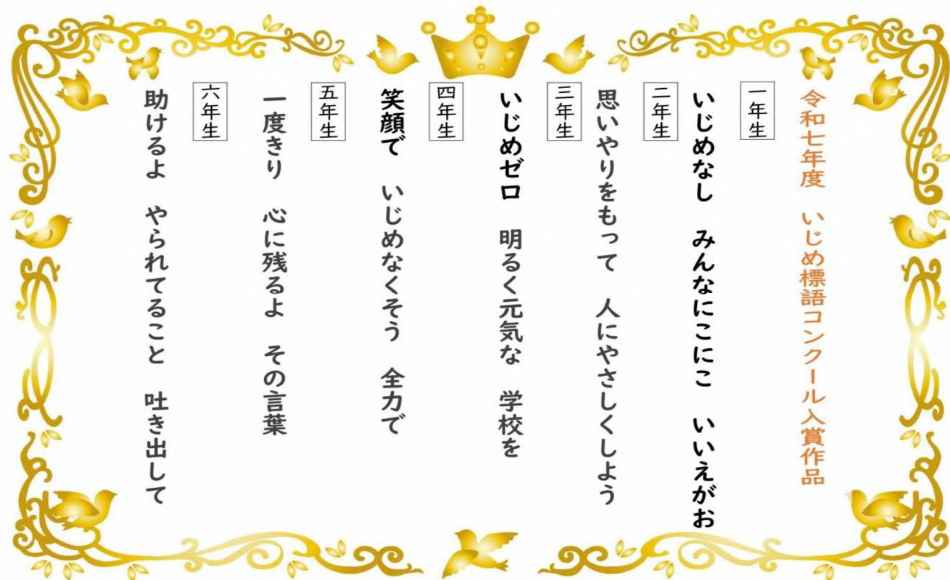
「いじめ防止標語」コンクール

- 1 ねらい
 - ・「いじめを起こさない」という 雰囲気在校内に広げる。
 - ・いじめを自分事として考え、「いじめを許さない」という気持ちを育てる。
- 2 時期
 - ・6月から7月にかけて、標語の募集と入賞 作品の紹介を行う。
- 3 具体的な取組

児童会が中心となって、全校児童にいじめ防止のための標語の募集を呼びかけます。1・2年生は、学級内で話し合いを行い、クラスで一つ標語を作成します。3年生から6年生は、一人ひとつ標語を考えて、児童会に提出します。3年生以上の児童の標語については、児童会役員と先生方により、「いじめはダメ」「みんなで仲良くしよう」というメッセージが伝わる標語を選び、それを入賞作品とします。入賞作品は、「いじめゼロ集会」で、全校児童に紹介します。集会では、なかよしタイムとして「じゃんけん列車」「もうじゅうがりに行こうよ」を全校で行い、異学年との交流を楽しむことができました。

石狩八幡小学校が開校してから続いている取組で、児童の心の中に「いじめはダメ」という気持ちが育っています。

取組内容



開校 6年目

開校記念日 7月12日

学校PR

石狩八幡小学校は、令和2年4月に石狩小学校と八幡小学校の統合により創立した開校6年目の学校です。「りりしい子」「かっこいい子」「やさしい子」「たくましい子」を目指して、学習や運動に励んでいます。特に地域の豊かな自然や伝統、文化を題材とした「ふるさと学習」に力を入れ、「網はずし体験」「郷土料理づくり」「地域探検」「石狩浜環境学習」「石狩湾新港見学」などを行っています。

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立花川小学校		
校長名	西島 進一	教頭名	金丸 剛輝
住所	石狩市花畔1条1丁目7番地	電話番号	0133-64-5316
児童生徒数	242名（男子 114名： 女子 128名）		
取組内容	<p>☆児童集会</p> <p>1) 日時 令和7年7月24日（木） 3校時</p> <p>2) 会場 体育館（当日、暑さのため理科室からのリモート開催）</p> <p>3) ねらい</p> <p>全校児童が、児童会（書記局、各委員会）の活動に興味を持ち、学校の一員として活動に参加しようとする態度や活動意欲を高めるとともに、揃って活動を行うことで、互いに交流し1人ひとりの自己有用感を高める。</p> <p>4) 内容（いじめ防止に関わるもの）</p> <p>① 代表委員会中心に「いじめ根絶標語コンクール」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が標語を作成した。 ・代表委員会で学級代表作品を選定し、さらに最優秀作品を選定。 ・児童集会の中で、学級代表作品・最優秀作品を紹介 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>～令和7年度 最優秀作品～</p> <p>「つらいなら すぐに言っても いいんだよ」</p> </div> <p>② 標語の募集とともに、「あなたがされていやなこと」「あなたがいじめだと思うこと」について児童に書いてもらい、児童集会の中で紹介した。</p> <p>捉え方や感じ方は人それぞれだということを全児童で確認した。</p>		
学校PR	開校 153 年目	開校記念日 6月10日	
	<p>石狩市はもとより管内的にも屈指の歴史を持つ本校は、保護者や地域の皆様の温かく大きな支えの中で、時代の変化に合わせてながら、子どもたちの健全な成長のために日々の教育活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度は「全ての子どもの学びの保障」を教育の土台に据えながら、「こどもまんなか」の視点から児童一人一人の声や意見を大切にされた学校づくりに努め、主体的・創造的に生き抜く子どもたちを育ててまいります。</p>		



児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立生振小学校			
校長名	池本 敦	教頭名	山森 聡	
住 所	石狩市生振375-1	電話番号	0133-64-2018	
児童生徒数	73名（男子37名：女子36名）			
取組内容	<p>年間の児童会の取り組み</p> <p>令和7年度の児童会テーマ 仲間～明るく公平な学校生活～</p> <p>生振小学校に通う児童全員が明るく心穏やかに、誰もが楽しく過ごせるように、1年間を通して、みんなが元気に過ごせるよう考え行動できるようにテーマを設定した。</p> <p>1. 「仲よし大作戦（ハルニシ活動）」 10月</p> <p>期間内に、友達にされてうれしかったことを葉っぱの形の紙に書き、児童玄関前の掲示板にある木の幹に張っていく活動を、児童会主体で行った。「〇〇してくれてありがとう」「△△と言ってもらえてうれしかった」など、されてうれしかった活動がたくさん見られた。たくさんの葉っぱで木の葉が茂っていく様子を、児童が喜びながら活動に取り組めた。</p> <p>2. 「いじめについて考える集会」 12月3日（水） 3校時</p> <p>書記局で、現在の生振小学校でいじめにつながりそうなことはないか考えたところ、仲はいいのだが、無意識のうちに人を傷つけていないか、そして傷つけられたことが「心のもやもや」としてたまっていていないかが問題として挙げられた。そこで集会の中では、縦割り班（レインボー班）ごとに「人にされて嫌なこと」「心のもやもやがたまること」について振り返るとともに、これからの学校生活の中で気をつけていくことを考えてもらった。話し合い後には、全校の仲をより深めるために「ほめほめばくだんゲーム」をした。班ごとに円になり、音楽に合わせて隣の人をほめてボールを渡し、音楽が止まった時にボールを持っていた人が「いじめをなくすためにがんばること」を宣言するゲームで、体育館内があたたかな言葉と空気で包まれた中、集会を行うことができた。</p>			
	<p>3. 三校合同「いじめ撲滅集会」 12月17日（水） 3校時</p> <p>石狩中学校に、石狩八幡小学校の5・6年生と本校の6年生がおじゃまし、3校の児童生徒でいじめ撲滅集会を行った。今年度のテーマ「いじめと思われる行動」について話し合った。中学生を中心に話し合い活動をし、相手が嫌だということはいじめであるということについて再認識する会となった。</p>			
学校PR	開 校	129年目	開校記念日	12月19日
	<p>特認校として市内全域から児童を受け入れ、豊かな自然環境などを生かした特色ある教育活動を行っている。「ユネスコスクール」の認定を受け、地域・保護者の皆様の支援をいただき、「学校田活動」や「世界寺子屋運動」など、様々な活動を行っている。</p>			



児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立南線小学校		
校長名	澁谷 拓	教頭名	佐藤 崇徳
住 所	石狩市花川南3-1-18	電話番号	0133-73-2042
児童生徒数	856名（男子449名：女子407名）		
取組内容	<p>集会名 思いやり集会</p> <p>期日 12月12日（金） 2校時</p> <p>関連する教育目標 ねらい・優しく思いやりのある行動をする子（なかよく）</p> <p>①相手を思いやる気持ちについて、一人一人が主体的に考える。</p> <p>②全校みんなで思いやりについて考え、思いを伝える。</p> <p>内容 <事前学習></p> <p>①いじめや人権について学習する・いじめや人権に関するDVDや本などの資料を見て一人一人考え、ワークシートに自分の考えを書く。 ※図書司書によるいじめに関する本の紹介</p> <p>②思いやり標語を書く・文化委員会から提案。全校児童の標語を廊下に掲示。 ※「標語」という形にとらわれず、学年の発達段階に合わせた形で取り組んでよい。 （「思いやりが感じられる言葉」など）取組内容</p> <p>③集会の参加態度について・集会の意義を考え、私語をせず、立腰の姿勢で臨むこと。</p> <p><当日集会進行内容></p> <p>①あいさつ</p> <p>②校歌</p> <p>③集会テーマの発表・・・書記局</p> <p>④「思いやり標語」文化委員会・・・各学年から優秀作品を発表</p> <p>⑤全校合唱・・・「音楽のおくりもの」</p> <p>⑥校長先生の話</p> <p><事後指導>・思いやりについて自分の考えを振り返る。</p>		
学校PR	開 校 124年		開校記念日 10月20日
	<p>6年生が「朝のさわやか活動」としてあいさつ運動に取り組んでおり、毎朝玄関ホールでは気持ちのよいあいさつの声が聞こえてきます。代表委員会と連携した取組も実施し、あいさつの輪がどんどん広がってきています。歴代の6年生が築き上げた伝統を、しっかりと引き継いでいきます。思いやり集会に向けて、児童会が中心となって「思いやりのあふれる学校にしよう」と積極的に活動しました。「思いやりの標語」は集会後に体育館前廊下に掲示して、1～2月はみんなが見ることができるようにしています。他の学年の友達の考えを知ることができるよい機会になっています。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立花川南小学校		
校長名	真野 智美	教頭名	松野 真也
住所	石狩市花川南6条5丁目1	電話番号	0133-73-1924
児童生徒数	574名（男子310名：女子264名）		



全校集会 実施日 2025年12月19日（金）

※12月実施予定だったが学校閉鎖により延期

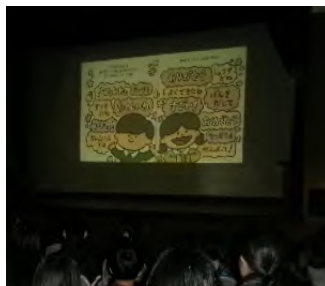
後期児童会書記局では、いじめをなくす取り組みとして言葉づかいに着目して全校集会を実施しました。思いやりのある言葉や励ましの言葉、感謝の言葉は、誰もが心温まり子どもの自己有用感が上がります。日頃から温かい言葉を投げかけることで「笑顔」で過ごすことができます。

花川南小学校のみなさんの いわれてうれしいふわふわ言葉

- 第1位 **ありがとう**
- 第2位 **がんばれ！がんばれ！**
- 第3位 **やさしいね**

全校集会 ～言葉づかいを考える～

12月に、児童会主催の全校集会が行われました。年に2回企画される全校集会ですが、今回は友だちへの「言葉づかい」をテーマに、絵本『ふわふわとちくちく』を児童会書記局のメンバーが読み聞かせてくれました。読み聞かせを通して、どのような言葉かけが相手の気持ちを温かくするのか、全校児童で思いやりについて考える時間となりました。心がぽかぽかする、児童会主体の素晴らしい集会でした。最後は、みんなで風船運びリレーを楽しみました。



取組内容

開校 46 年目

開校記念日 11月29日

学校PR

花川南小学校は重点教育目標として「心ぽかぽか 瞳きらきら 元気もりもり」を合言葉に教育活動を実施しています。子どもたちや地域の方にも馴染み深い言葉となっています。
令和7年度の花川南小学校児童会では、前期テーマ「ホップ ステップ シャイニング～笑顔でかがやけるように～」、後期テーマ「ハッピーメモリー～笑顔で最高の思い出を～」を合言葉に、自分が、そしてみんなが笑顔になる取組、そして相手に笑顔を届ける取組を児童会が主体的に企画し、全校集会だけでなく、様々な活動を実施してきました。
今後も一人一人の思いを大切にしながら、心がぽかぽかになる活動を続けていきます。

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立紅南小学校		
校長名	早川 久夫	教頭名	赤井 真美子
住 所	石狩市花川北6条1丁目1	電話番号	0133-74-0318
児童生徒数	355名（男子182名：女子173名）		
取組内容	行事名	なかよし集会	
	実施時期	隔年開催 12月2週目	
	ねらい	児童の学校生活に規律、秩序をもたせるとともに、児童会の一員としての自覚を育てる。 いじめについて知り、考え、自分や友だちを大切に生活できるようにする。	
	内容	2022年度	書記局が呼びかけ、各クラス向けのクイズを作成した。集会当日までその答えを掲示できるように書記局が準備し、Teamsの会議機能でリモート開催の形で行った。各教室と放送室をリアルタイムで中継し、全校のクラスと仲良くする意識を育てた。
	2024年度	いじめについて考え、自分や友だちを大切にできる生活を目指す全校行事を実施した。図書委員の読み聞かせや「なかよし宣言」が行われ、主体的な話し合いや発表の姿勢を学んだ。いじめ防止をテーマにした標語作りでは、優秀作品を玄関前に掲示することで全校の意識を高めた。事前・事後の学級指導を組み合わせ、集会での学びを日常の規律や振り返りへと定着させた。	
	今後の展望	平和集会との隔年実施を通じて、いじめ防止や平和について多角的・継続的に学び、自分や他者を尊重する心を育み続けます。児童会がさらに見通しを持って企画・運営に参画する場面を確保し、主体的な話し合いや発表を通じた自治能力の向上を図ります。事後指導での振り返りを日々の生活規律に繋げ、落ち着いた態度で互いを大切にし合える学校生活を維持・発展させていく。	
			
学校PR	開 校 4 2 年 目		開校記念日 2月3日
	書記局を中心とし、代表・体育・環境・図書・放送の各委員会が各年度の児童会テーマに沿った活動計画を立て、前期・後期にわかれて4年生以上の全児童が携わる形で児童会活動を行っている。 児童会テーマ案には必ず「いじめ0」「なかよく」「協力」といったキーワードが出され、児童自らの意識の高さがうかがえる。教師はそれを具現化させる助言をし、児童の力で形にする経験をさせている。		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立緑苑台小学校		
校長名	林 克哉	教頭名	児玉 憲彦
住 所	石狩市緑苑台中央3-603	電話番号	0133-76-1990
児童生徒数	282名（ 男子144名： 女子138名 ）		
取組内容	<p>おもいやり集会 ～「みんなHAPPY！幸せで笑顔いっぱいの緑苑台小学校」～7月実施</p> <p>(1) ねらい 全校でいじめについて考え、思いを伝える。</p> <p>(2) 実施 ①事前に、3年生以上の各学級で、いじめ防止に関する標語を考える。学級から代表の作品を決める。 ②全学年が集会に参加。各学級の代表作品を発表する。 ③児童会書記局が、いじめに関する本を読み聞かせし、代表児童が感想を発表する。 (1・2年生には、児童会書記局が、別の本も事前に朝読書で読み聞かせをする。) ④その他、全校合唱等を行う。</p> <p>各学級の代表作品を紹介し、改めて、いじめについて深く考える機会となっている。</p>		
			<p>土曜授業日に実施し、保護者や学校運営協議会の委員も参観できるようにした。</p>
学校PR	開 校 23年目	開校記念日 9月29日	
	<p>平成15年に、花川小学校、若葉小学校を母体校として分離設立され、開校23年目を迎えた。校舎は、多様な活用を図ることができるように1階から3階まで吹き抜けの多目的ホール、2学級連結の教室とワークスペース、ミニ児童館が併設されるなど、工夫されたつくりとなっている。校区は緑苑台地区と花川東地区で、大型商業施設のある落ち着いた住宅地と、紅葉山南公園やパークゴルフ場が隣接し、自然豊かな広々とした環境にあり、地域とともに、〇心豊かで、思いやりのある子 〇明るく元気で、たくましい子 〇進んで学び、表現する子 を教育目標とした学習活動を展開している。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

石狩市立双葉小学校

学校名

校長名

東峰宏紀

教頭名

杉浦和貴

住 所

石狩市花川北4条3丁目1番地

電話番号

0133-74-0494

児童生徒数

245名（ 男子134名： 女子111名 ）

行事名 いじめをなくそう集会

目的

- ・全児童に、いじめはどんな理由があっても絶対にいけないという共通認識を持たせる。
- ・仲間を大切にする心を育てる。

日時 7月8日（火）2校時

場所 体育館

企画・進行 生活委員会

内容

- ・委員会児童による劇
- ・いじめに関するクイズ

取組内容



開 校 17年目

開校記念日 10月17日

学校PR

石狩若葉小学校と石狩紅葉山小学校が統合して双葉小学校となり、17年目を迎えました。校内には元気で明るい子どもたちのあいさつが響き渡っています。「双葉小スタンダード」をもとに、学習規律の定着、学力向上、体力向上に取り組んでいます。PTA活動は、令和7年度からボランティア性を取り入れ、保護者と教職員が、無理なく、できる時にできることを「やる」を目指しています。

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立浜益小学校		
校長名	鬼塚 建次	教頭名	長尾 友洋
住 所	石狩市浜益区柏木1-17	電話番号	0133-79-3142
児童生徒数	29名（ 男子 17名： 女子 12名 ）		
取組内容	<p>①思いやり集会 12月 ねらい 全校児童が、他者を思いやり気持ちを持ち、お互いを認め合い、いじめのない学校にしようという意識を高める。</p> <p>①はじめの言葉 ②ゲーム交流 ③感想交流 ④校長先生のお話 ⑤おわりの言葉</p>    <p>②ふれあい給食 2回（6月・11月） ねらい 異学年が、協力して給食準備をしたり、食事中にコミュニケーションをとるなど相互理解を深める。</p>  		
学校PR	<p>開 校 27年目 開校記念日 9月16日</p> <p>地域が非常に協力的であるので、多くの体験活動を行っている（例 田植え活動・稲刈り活動、小中合同運動会、収穫祭など）。また、小規模校（全校児童29名）のため体験活動は、主に縦割り班活動で実施している。そのため、自然と上級生が下級生のお世話や手伝いをしたり、相手の事を考えて思いやりを持って接することが大切な場面が数多くある学校である。R8年度からは浜益中学校と統合し、義務教育学校「浜益学園」となっている。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立石狩中学校		
校長名	杉浦 浩	教頭名	森野 泰宏
住 所	石狩市志美230番地30	電話番号	0133-62-5004
児童生徒数	52名（ 男子21名： 女子31名 ）		
取組内容	<p>12月17日（水）いじめ撲滅集会【生振小・石狩八幡小・石狩中 3校合同】 〈内容〉</p> <p>1. 事前の取組 (1) 事前学習： 学級活動において、Changersの教材「仲間外れ」を題材とした授業を実施。加害者・被害者双方の視点から「すれ違いをどう解決するか」を話し合い、いじめ防止対策推進法に基づく「いじめの定義」について理解を深めた。 (2) 共同掲示物の作成： 小中合同で、全校児童生徒が「いじめ撲滅のために自分ができること」を花びら型の用紙に記入し、あじさいの掲示物を作成することを共有した。 (3) 意識調査： Formsを活用し、集会前の「いじめに対する意識アンケート」を実施した。</p> <p>2. 当日の取組 小中合同グループワーク： 中学生52名と小学生が混成の10グループを編成し、司会進行を中学生が務めた。</p> <p>ディスカッション： オンラインやSNS上での「仲間外れ」事例をテーマに、「いじめにつながるためにどうすべきか」「自分なら何をするか」について対話を行い、意見を全体で交流した。 いじめ撲滅宣言： 中学校生徒会長と小学校児童会長により、「いじめをしない・させない・許さない」ことを誓う「いじめ撲滅宣言」を朗読した。</p> <p>3. 事後の取組 (1) アンケートの実施： 集会後の意識の変化を確認するため、Formsによる振り返りアンケートを実施した。 ○いじめは絶対に許されないことだと思うか【肯定的回答98%】 ○集会を終えて、これからどのように過ごすか 「相手の立場になって考え、自分の発言が誰かを傷つけないよう気を配る」「いじめを許さないという誓いを持ち、皆が安心して過ごせる学校を作る」 (2) 生徒会だよりの発行： アンケート結果や集会の様子を「生徒会だよりに」としてまとめ、児童生徒に情報発信し、継続的な意識向上を目指す。</p>		
			
学校PR	開 校 46年目	開校記念日	11月22日
	<p>本校は昭和55年に開校し、令和7年度で開校46年目を迎えます。各学年1クラスという少人数の強みを活かし、校区の石狩八幡小学校、生振小学校との小中連携教育を推進しています。また、ユネスコスクールとして「アンネのバラ」の育成やペットボトルキャップ回収、手話講座など、地域と連携したESD活動（持続可能な開発のための教育）に積極的に取り組んでいます。</p>		

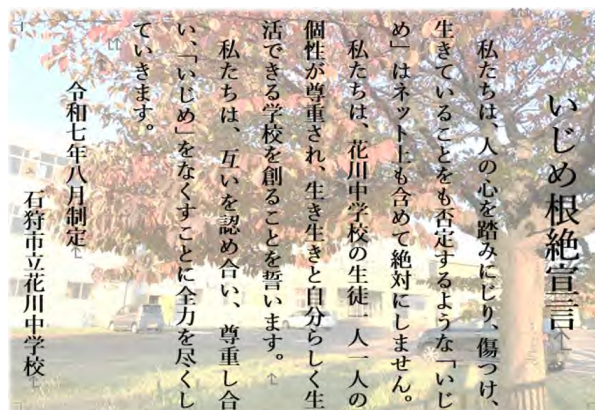
児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立花川中学校		
校長名	松原 謙二	教頭名	種村 泉
住 所	石狩市花川北4条1丁目2番地1	電話番号	0133-74-2032
児童生徒数	400名（ 男子 203名： 女子 197名 ）		

■ねらい
いじめについて考える機会とし、いじめをなくし、全校生徒が安心して過ごせる学校づくりに向けた意識を高める。

■内容
《6月27日～7月16日》
いじめ根絶標語の作成
《7月中旬》
事前アンケートの実施
《8月27日》
夏休み明け、体育館でいじめ根絶集会を行う。生徒会から全校生徒へアンケートの結果を周知し、生徒会役員が作成したいじめに関する動画を視聴し、いじめ根絶について考え、話し合う時間をもった。全学級のいじめ根絶標語を発表し、生徒会からいじめ根絶宣言を発表した。

取組内容



いじめ標語

1年1組	人の名を 汚す権利は 君にない
1年2組	軽いソリ その行動が いじめだよ
1年3組	全員の すてきなところ 見つけよう
1年4組	君の手は 誰かを救える 大事な手
2年1組	言葉から 心傷つける とげになる
2年2組	やめようか 勝手にあだ名を つけるのは
2年3組	あだ名ゼロ いじめゼロへの 第一歩
2年4組	いじめはみじめ けじめをつけろ 全員が
3年1組	自分から 嫌だと言える 人になろう
3年2組	そのいじめ わりとまじめに ありえねえ
3年3組	いじめという名の悪循環から根絶という名の好循環へ
あすなる	いじめはね ひどくなる前に 相談しよう



学校PR	開 校 39 年 目	開校記念日 6月1日
	<p>本校はユネスコスクールであり、令和5年度からESDを学校経営の中心とし、心の中に平和のとりでを築く生徒の育成を目指しています。「花中平和プロジェクト」と称して「人権」「環境」「防災」をテーマとした教育活動を推進し、地域の方を講師として招聘した講話やグループワーク、体験活動の他、生徒会企画のSDGsビンゴや、SDGsを取り上げた授業交流などを行いました。10月の文化発表会では一連の学習の成果を発表しました。</p>	

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介


学校名	石狩市立花川南中学校		
校長名	北村 剛	教頭名	小川 琢治
住 所	石狩市花川南9条4丁目94番地	電話番号	0133-73-6104
児童生徒数	293名（ 男子154名： 女子139名 ）		
取組内容	<p>1. 日時 令和7年5月16日（金）5校時</p> <p>2. 場所 花川南中学校 体育館、各教室</p> <p>3. 内容</p> <p>「いじめを絶対に許さず、いじめを起こさない」学校を目指して、生徒会主導による集会を毎年5月に実施している。生徒会役員が制作したいじめを題材にした映像を全校生徒で視聴し、視聴後にいじめ役・いじめられ役を演じた生徒会役員がそれぞれの立場で感想を発表した。集会の最後は、生徒会長が「いじめ撲滅宣言」を発表し、花川南中学校は「いじめを絶対に許さない」ことを全校生徒で採択した。</p> <p>集会終了後は教室へ戻り、いじめアンケートに取り組んだ。さらに、集会の内容や日常生活を振り返り、生徒一人ひとりが「いじめ撲滅宣言カード」を作成した。「宣言カード」は代表委員会が学級ごとにとりまとめ、学年廊下に掲示した。</p> <p>いじめを起こさない雰囲気をつくり、未然防止の意識を高めるため、生徒一人一人にいじめを自分事として考える機会となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">いじめ撲滅宣言</p> <p>私たち南中生は、身の回りで起きるいじめを決して起こさず、見逃さず、みんなが安心して過ごせる南中を目指します。</p> <p style="text-align: center;">令和7年5月16日</p> <p style="text-align: center;">生徒代表 ○○○○</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">生徒会長が読み上げた『いじめ撲滅宣言』</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">宣言カード</p> <div style="text-align: center;">  </div> <hr/> <hr/> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;">年 組 名 前</p> <hr style="width: 100px;"/> </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">生徒一人ひとりが記入した『宣言カード』</p> </div> </div>		
学校PR	開 校	48年目	開校記念日 5月2日
	<p>R7年度生徒会書記局では、「睡蓮」をスローガンに掲げ、“信頼しあえるやさしさと清純な心を持った南中生に近づけるように”という願いを込めた。生徒一人一人が良さを発揮し、さらに仲間を気遣い、毎日の学校生活がより良いものになることを目標に活動を進めてきた。</p> <div style="float: right; text-align: center;">  </div>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立花川北中学校		
校長名	大西 智彦	教頭名	武田 純子
住 所	石狩市花川北3条4丁目130番地	電話番号	0133-74-5957
児童生徒数	233名（ 男子 112名 ： 女子 121名 ）		
取組内容	<p>いじめ防止集会 令和7年12月24日</p> <p>毎年、本校では全校生徒でいじめについて考える集会、「いじめ防止集会」を行っております。</p> <p>【集会のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめについて全校で考え、いじめをなくそうとする意識や行動につなげる。 ・いじめの原因や予防策、対応策について一人ひとりが深く考える場とする。 <p>⇒いじめの未然防止について考えることはもちろん、万が一いじめが生じた際に最小限に（Little）早急に（Early）、ダメージを少なくするにはどうしたら良いかを全校生徒で考えるための集会で、生徒会が中心となり行っています。</p> <p>集会の前には各学年で決めたテーマに基づいて、それぞれの学級で2回の活発な討議が行われ、その結果を各学年の代表者と生徒会役員が集会でプレゼンテーションをしました。</p> <p>当日は、人権擁護委員の方々にご来校いただき、生徒それぞれの発表に対しご意見をいただいたり、いじめの防止と人権の意識に関わってお話をいただきました。また、全国中学校人権作文コンテスト札幌地方大会で佳作を受賞した生徒への表彰も実施されました。</p> <p>最後に各学級で振り返りを実施し、改めていじめについて、1人1人がしっかりと考えることができました。</p>		
学校PR	<p>開 校 47 年 目</p> <p>開校記念日 5月9日</p> <p>校庭は開放的で、豊かな緑に囲まれ、落ち着いた環境が広がっています。毎年春になるとグラウンド脇の桜がきれいな花を咲かせ、生徒たちの成長をずっと見守ってきました。広いグラウンドと体育館に恵まれており、明るく、近代的な校舎内に目を移すと、生徒たちが、自らの資質・能力を高めようと日々、学習、生徒会活動、部活動に打ち込んでいる姿を見ることができます。学校の公開日も設定しております。ぜひ、足を運んでいただき、生徒の活動の様子をご覧になっていただければと思います。</p>		



児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立樽川中学校		
校長名	小森 享	教頭名	久々江 史也
住 所	石狩市樽川6条3丁目600	電話番号	0133-74-2353
児童生徒数	471名（ 男子 244名： 女子 227名 ）		
取組内容	<p>いじめについて考える集会 まず、生徒会役員が話し合いを行い、「いじめ」について全校生徒に問題提起する内容について考えた。</p> <p>集会は放送形式で行われ、生徒会役員がパワーポイントを使用し、全校生徒へ「いじめ」の実態、起きる要因について説明したあと、動画を視聴した。動画視聴後には、いじめが起きた時の対処法などについて説明を行った。</p> <p>最後に、各学級で意見交流を行い、いじめに対する考えを交流し、生徒一人ひとりが「標語」を考え、クラス内で交流を行った。全校生徒の作品の中から、各学年1点ずつを選び、全校生徒に披露した。</p>		
			
学校PR	開 校 32 年 目	開校記念日	10月9日
	<p>本校の重点教育目標は、「未来を切り拓き、学び合い、認め合い、高め合う生徒の育成」です。未来を切り拓き 学び合い、認め合い、高め合いを意識しながら、教育活動を推進しています。未来に向かって、主体的に優しく強い心で生き抜く生徒になってくれることを信じています。生徒・教職員が通いたい、保護者が通わせたい学校、そして地域とWin-Winの関係でいる学校になることを願っています。</p>		

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名 石狩市立浜益中学校

校長名 細田幸男 教頭名 星野 満

住 所 石狩市浜益区柏木1-17 電話番号 0133-79-2046

児童生徒数 13名 (男子6名： 女子7名)

生徒会企画「ハマスマ」(浜益を笑顔にする運動)

全校生徒が笑顔で学校生活を送れるように、生徒会が年に数回「ハマスマ」という企画を行っている。学校の枠をこえ、時には小学校と合同で、時には地域の方も一緒になったレクリエーションを通じて良好なコミュニケーションが築かれ「いじめ防止」にもつながっている。

取組内容



開 校 78 年 目 開校記念日 6月1日

学校PR 石狩管内の最西端・最北端に位置する石狩市浜益区は、2本の幹線国道沿いに形成された13の集落から構成されている。浜益区は山と海に囲まれ、歴史的に価値のある遺産の“岡島洞窟”“庄内藩陣屋跡”“鯨番屋(郷土資料館)”等が身近にあり、自然・文化的に大変恵まれた教育環境にある。自然と自然を生産基盤としている第一次産業を積極的に教育活動に活用し、学習の場を広げてきた。現在、総合的な学習の時間(ふる里学習)を中心として、教育課程に位置付けられた取り組みがなされ、1年生の“りんご栽培学習”“漁師の出前授業”、“2年生の区内職業体験学習”等が行われている。R8年度からは浜益小学校と統合し、義務教育学校「浜益学園」となっている。

児童生徒が主体となった「いじめ防止」の活動紹介

学校名	石狩市立厚田学園		
校長名	立崎 寿朗	教頭名	高砂俊克（前期）・太田伸二（後期）
住所	石狩市厚田区厚田171番地1	電話番号	0133-77-5356
児童生徒数	40名（男子18名：女子22名）		
取組内容	<p>9年間の義務教育学校である厚田学園は、児童会と生徒会が合わさった児童生徒会（児生会）による活動が行われています。児生会役員が中心となり、「仲良くいじめのない学校」とするために、学年同士の関係はもちろん、縦割りの活動を通して、児童生徒間の交流を深め、課題未然防止教育（先行的）に取り組んでいます。</p> <p>①兄弟学年ウィーク 交流を深めることを目的に、上級学年が下級学年と交流する内容を企画・検討して進めています。昼休みの時間を利用したこの活動から、友達や仲間を思いやる気持ちや、支えあうことの大切さを学んでいます。</p> <p>②わくわくふれあい給食 全校児童生徒が多目的室に集まり、い学年と一緒に給食を食べる日を設定しています。テーブルごとにクイズやテーマを決めて交流し、学年を超えた関係を深め、楽しい時間を過ごしています。対話を通じて、自己表現力を高め、他者を思いやる心が育っています。</p> <p>③後期課程生徒による「絵本の読み聞かせ」 後期課程生徒による前期課程児童への「絵本の読み聞かせ」を実施しています。「あいかぜとしょかん」の司書さんから、選定する本のアドバイスをもらい進めています。絵本の世界の楽しさを通して、学年間の交流を深めることができました。</p>		
			兄弟学年ウィークの様子
			後期課程読み聞かせの様子
	開校 6年目	開校記念日 2月1日	
学校PR	<p>2019年度をもって厚田小・厚田中・望来小・聚富小中が閉校となり、聚富・望来・厚田・発足地区を校区とする義務教育学校の「厚田学園」として2020年度に開校しました。開校と同時にスタートした「厚田コミュニティ・スクール」も今年で6年目を迎えました。今年度は、地域の魅力を再確認する取り組みとして、8年生が地元厚田を紹介する「パンフレット」を厚田支所の協力を得ながら作成し、自主研修先の札幌でのPR活動に取り組みました。また、5～7年生が「道の駅」テナントとコラボしたアイスの販売を行いました。こうした、地域の協力を得ながら地域の魅力を発信する活動にも力を注いでいます。</p>		